

TEMM18 ユースフォーラム

中国・日本・韓国の環境大臣に対するユースの提案

私達は、中国・日本・韓国のユース代表として、この第18回日中韓三カ国環境大臣会合（TEMM18）ユースフォーラムに出席するために集まりました。ユースフォーラムにおいて、私達は、自然の恵みに関して意見交換を行いました。ユースを代表して、中国・日本・韓国の各環境大臣に対して以下のことを提案させていただきます。

はじめに、私達は東海大学自然史博物館、海洋科学博物館への訪問や日本平お茶会館でのお茶摘み、試飲体験を通して、日本における自然の恵みの保全と活用についていくつかの例を学びました。次に、IPBES アジア・オセアニア地域アセスメント技術支援機関ヘッドの鈴木渉さんに「私達の暮らしを支える自然の恵み」についてご講演いただきました。また、中国・日本・韓国のユース代表として、自然の恵みの保全と活用に関して各国で行われている取組事例について紹介しました。

日本からのユース代表は、里山の多様な自然の恵みを紹介するとともに、人間が自然と調和して生きている例として、蕪栗沼で行われている野生生物に優しい農法、「冬水田んぼ」について説明しました。また、自然の恵みの保全と活用にユースが果たし得る独特の役割を明確に示すため、ソーシャルネットワークサービス（SNS）や大学・地域社会間の協力の活用について紹介しました。代表は、持続可能な社会の確立に向けてユースの能力を最大限に引き出す方法を提案することにより、そのプレゼンテーションを締めくくりました。

韓国のユース代表は、両生類のモニタリングや水利用の調査など、自然の恵みの保全と理解にユースが貢献している示唆に富んだ例を紹介しました。自然の中での有意義な体験に基づき、韓国のユースはその取組を個人レベルから社会レベルへと拡大しており、その結果、伝統知識の価値の理解や自然の恵みに対する人々の認識向上の面で目に見える成果が上がっています。彼らは韓国のユースの取組を振り返り、ユースは自然の恵みの受益者になれるだけでなく、自然の恵みの保全と賢明な活用を推進する上で、公共・民間部門や市民社会の

積極的でふさわしいパートナーにもなり得る、と結論付けました。

中国のユース代表はまず、自然の恵みに対する彼らの理解を説明しました。次に、秦嶺山地での保護活動、鳳岡における製茶業と観光業の振興、都市部でのモスバス（苔緑化バス）停留所の設置など、自然の恵みの活用に向けたユースの取組を紹介しました。その上で、自然の恵みの貧困緩和への利用、環境教育・広報活動の推進、グリーン起業への支援、中国・日本・韓国の協力強化、という 4 つの提案を行いました。ユースは自然の恵みを賢明に活用できると、彼らは中国のユースの信念を語りました。

これらの取組事例の紹介後のグループディスカッションでは、私達は意見の類似点や相違点、また三カ国における取組と課題について話し合いました。そして、今後私達ユースが自然の恵みを保全、活用していくにあたり、次のような点が重要な視点として共有されました。

- 自然の恵みを理解することの重要性を認識する
- 新旧の世代間の知識格差と、伝統的な知恵と現代の知恵の双方を分かち合うことの重要性を認識する
- 農村部と都市部の地理的な地域間格差と開発上の格差を理解し、経済発展を支え生態系保全に貢献するよりグリーンな仕事を創出することなどにより、経済発展と生態系保全のバランスを保つことの重要性を認識する
- 例えば、ユースの取組への科学的支援の不足や、社会の参画の不足など、異なった部門間のコミュニケーションや協力が不足していることを認識する
- 持続可能な長期的事業の重要性を認識する

そのため、私達は自然の恵みの保全や活用に向けて、以下の役割を果たしていくことを約束します。

- より多くの人々に国際的にも地域的にも情熱を持って協力するよう働きかけ、より良い方向を目指していく
- 異なった世代、知識体系、開発段階、部門間の格差を埋める
- 科学研究・活動を加速させ、インターネットを通じて新たな価値を推進する

ことにより、新しい価値観を生み出しアイデアを引き出す

- 貧困緩和の視点から、私たちの社会に目を向ける
- グリーン起業家として行動する

最後に、私達三カ国のユース代表一同は、三カ国の環境大臣に対して以下のことを提案させていただきます。

- 自然の恵みの保全と活用を推進する上で、ユースが積極的でふさわしいパートナーになり得ることを認識する
- オンラインでのフォーラムやオフラインでの意見交換など、国内的・国際的双方の基盤やメカニズムを構築し、政府と青少年、ユース同士、他の部門とのコミュニケーションを高める
- 自然の恵みの保全と活用に向けて、資金援助を増やし、民間部門のさらなる支援を集める（奨学金、研究資金、起業の元手資金など）
- 地域的な環境問題の解決に役立てることのできるデータベースを構築して共有する

私達三カ国のユース代表一同は、**TEMM18** が、経験を共有しお互いに学び合うという素晴らしい機会を与えてくださったことに、感謝いたします。